

さいたま市長メッセージ（令和3年3月23日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

2か月半以上の長期にわたった緊急事態宣言が、3月21日をもって解除されました。市民と事業者の皆様には、感染拡大防止のため、多くのご協力をいただきましたことに、改めて御礼を申し上げます。

しかしながら、本市では、新規陽性者の減少は下げ止まりの状態であり、3月21日までの1週間に、3,123件の検査を実施し、135名が確認されています。

これは、昨年の12月上旬と同じ水準であり、宣言の解除を受けて、気を緩めると、年末年始のように、再び感染者が急増する恐れがあります。引き続き、感染症対策を継続していくことが重要です。

これから、新年度を迎え、入学式や入社式など、人が集まる場面が多くなります。そうした場面では、引き続き、手洗いやマスクの着用、換気、3密の回避といった、基本的感染症対策を徹底していただくようお願いいたします。

また、そうした場面以外の不要不急の外出については、今一度見直してください。

さて、桜の開花が進み、間もなく満開となる見込みです。市内には、お花見スポットと呼べる場所が多数ありますが、飲食を伴う花見は人混みや飲酒により声が大きくなり、マスクの着用もおろそかになるなど感染リスクが高まります。

ことし いんしょく ともな はなみ 今年は、飲食を伴う花見ではなく、できるだけ人との間隔をあけた上で、
さんぽ はなみ たの 散歩での花見を楽しんでいただきたいと思います。

みなさま きょうりょく 緊急事態宣言が解除され一つの大きな山を越えるこ
とができました。しかし、こんご ひ つづ ちゅうい ひつよう じょうきよう 状況だと認識してい
ます。これからもみなさんとともに、たいさく とりく 対策に取り組んでまいります。